

平成 29 年 3 月 29 日  
高 齢 者 支 援 課

練馬区 認知症(もの忘れ)相談  
平成28年4月～平成29年2月期実績

1 相談件数

4高齢者相談センター(本所)において、月1～4回実施した。

平成28年4月から平成29年2月までの相談回数は、合計32回、相談件数は86件であった。(表1)

表1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
相談回数	4	4	2	2	4	3	2	3	4	1	3	32
相談件数	9	6	5	5	10	9	5	12	11	6	8	86

※相談件数は世帯単位。

2 来談者数と内訳

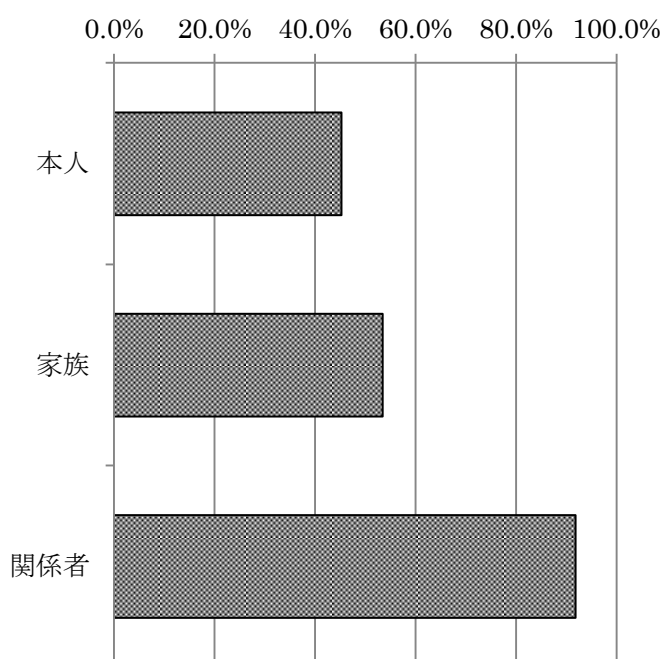
来談者は、合計164名であった。内訳は、本人39名、家族(同居・別居問わず)46名、関係者(ケアマネジャー、行政職員、住民など)79名であった。(表2)

相談件数に対する来談者の内訳の割合は、本人45.3%、家族53.5%、関係者91.9%であった。(図1)

表2

月	相談件数	来談者数		
		本人	家族	関係者
4月	9	3	7	6
5月	6	2	6	3
6月	5	1	5	13
7月	5	5	4	5
8月	10	7	5	7
9月	9	5	2	8
10月	5	2	4	4
11月	12	6	4	8
12月	11	3	3	13
1月	6	2	3	6
2月	8	3	3	6
合計	86	39	46	79

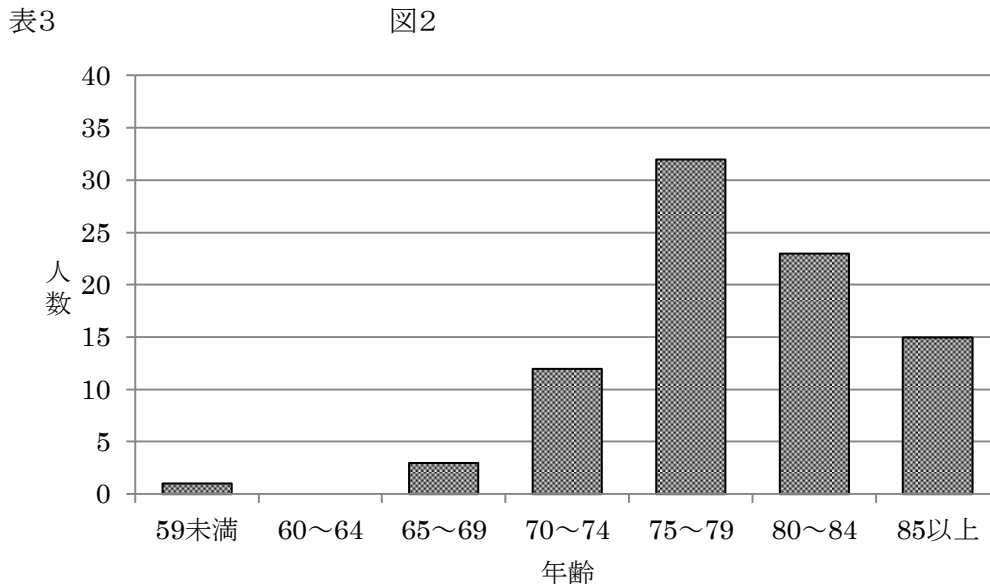
図1



### 3 本人の年齢分布

本人年齢は、70歳以上がほとんどを占めた。(表3、図2)

年齢	人数
59歳以下	1
60～64歳	0
65～69歳	3
70～74歳	12
75～79歳	32
80～84歳	23
85歳以上	15
合計	86



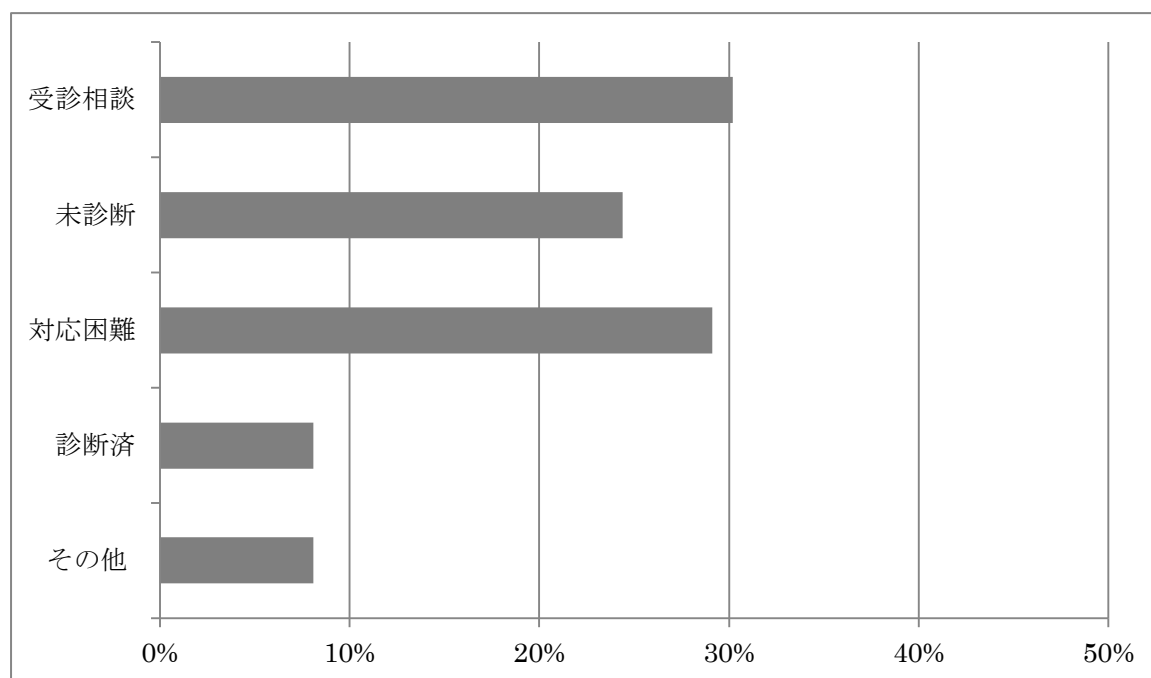
### 4 主訴

相談の主訴を表4のように5つに分類して集計した。(表4、図3)

表4

分類	内容	件数	割合
受診相談	相談者が認知症かどうかの鑑別診断を求めているもの。	26件	30.2%
未診断	症状はあるが、受診拒否等により、受診するまでの手段等に難渋しているもの。	21件	24.4%
対応困難	診断の有無にかかわらず、妄想や暴力等により相談者が困窮しているもの。	25件	29.1%
診断済	認知症と診断されているが、対応の仕方などの助言を求めているもの。	7件	8.1%
その他	上記にあてはまらないもの。	7件	8.1%
合計		86件	100%

図3



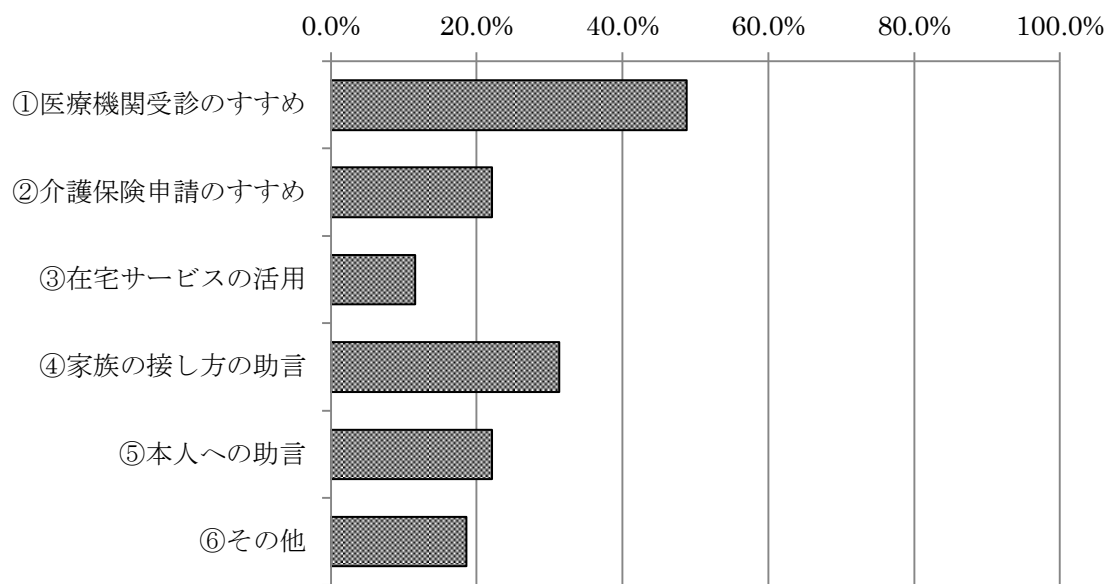
## 5 相談結果

相談結果は、表5のように6つに分類して集計している。(表5、図4)

表5

分類	件数(重複あり)	割合(n=86)
① 医療機関への受診のすすめ	42	48.8%
② 介護保険申請のすすめ	19	22.1%
③ 在宅サービスの活用	10	11.6%
④ 家族の接し方の助言	27	31.3%
⑤ 本人への助言	19	22.1%
⑥ その他	16	18.6%

図4



6 平成28年度(2月末現在) 訪問相談(初期集中支援チーム)実績

(1)訪問実績

表6

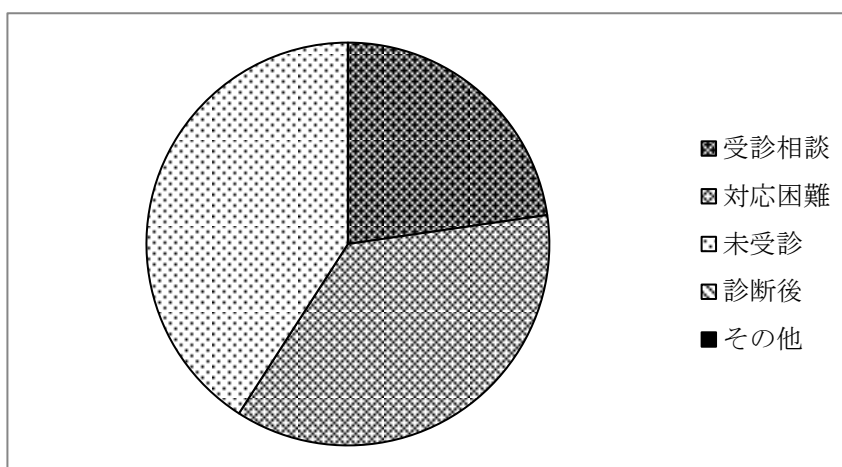
初期集中支援チームの医師が同行しての訪問相談 ※ 初期集中支援チームおよび認知症(もの忘れ)相談事業実績としてカウント	延件数	対象者実人数
	6件	6人
初期集中支援チームの医師の助言を受けての訪問相談 ※ 初期集中支援チームの実績としてカウント	延件数	対象者実人数
	16件	14人

(2)相談主訴

表7

分類	内容	件数	割合
受診相談	相談者が認知症かどうかの鑑別診断を求めているもの。	5件	22.7%
未診断	症状はあるが、受診拒否等により、受診するまでの手段に難渋しているもの。	8件	36.4%
対応困難	診断の有無にかかわらず、妄想や暴力等により相談者が困窮しているもの。	9件	40.9%
診断済	認知症と診断されているが、対応の仕方などの助言を求めているもの。	0件	0%
その他	上記にあてはまらないもの。	0件	0%
合計		22件	100%

図5



(3)相談後の対応

表 8

分類	延べ件数	割合(n=20)
① 医療機関の受診	12	60.0%
② 介護保険申請、サービス利用	6	30.0%
③ 成年後見制度の利用	0	0%
④ 在宅サービスの活用	0	0%
⑤ 家族の対応	11	55.0%
⑥ 地域とのつながり	0	0%
⑦ チームで支援継続中	9	45.0%

図6

